



2017年12月7日

大教大附属高校平野校舎 SGH 研究発表

—多面的に“いのち”を考えるグローバルリーダーをめざす—

大阪教育大学附属高等学校平野校舎（大阪市平野区流町 2-1-24 校長：太田順康）は、平成 27 年度に文部科学省スーパーグローバルハイスクール（SGH）に指定され、「多面的に“いのち”を考えるグローバルリーダー」をテーマに研究開発に取り組んでいます。このほど、2 日間の日程で、同校の取り組みに関する教員交流・研修会（12 月 15 日）と生徒課題研究発表会（16 日）を行います。

記

1. 教員交流・研修会

課題研究の指導方法は、学校現場でも確立できておらず、課題となっている。そこで、平野校舎が実践している、課題研究を進めるための教材や指導方法・評価方法「平野メソッド」を紹介する。また、SGH 指定校の取り組みや課題などの情報交換・意見交換を行う。

日 時 平成 29 年 12 月 15 日（金）13:30～16:50

場 所 大阪教育大学附属高等学校平野校舎（大阪市平野区流町 2-1-24）

参加者 全国学校関係者 40～50 人

2. 生徒課題研究発表会

平野校舎ではグローバルな社会課題「医療保健・防災減災・格差貧困」について取り組んできた。その成果を大学・企業の関係者を招き発表する。また、SGH 指定校である府立北野高、府立三国丘高が口頭発表するほか、奈良女子大附属中・高、神戸大附属中・高、神戸市立葺合高、大阪市立咲くやこの花中などの生徒もポスター発表を行う。

日 時 平成 29 年 12 月 16 日（土）9:00～16:30

場 所 大阪教育大学附属高等学校平野校舎（大阪市平野区流町 2-1-24）

参加者 平野校舎生 242 人、他校生約 60 人、企業関係者約 10 人、大学関係者約 20 人

※実施内容の詳細は添付資料をご覧ください。

【取材について】

- 取材にお越しいただく場合、お手数ですが12月14日（木）13時までに「社名、代表者の名前、連絡先、参加人数」をFAX又はメールにてお知らせください。
- 現地では係員の指示に従い、取材中は必ず記者証、報道腕章を着用してください。

【申込先】

大阪教育大学附属高等学校平野校舎 副校長 堀川 理介

TEL:06-6707-5800

FAX: 06-6709-1711

E-mail: sgh@cc.osaka-kyoiku.ac.jp

平成29年度 大阪教育大学附属高等学校平野校舎 SGH 研究発表会のご案内

深秋の候、皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より本校の教育活動に格別のご理解とご協力を賜り、誠に有り難うございます。

さて、本校は平成27年度に、文部科学省スーパーグローバルハイスクール(SGH)に指定され、「多面的に”いのち”を考えるグローバルリーダーの育成」をテーマに研究開発に取り組んでいるところです。

このたび、これまでの取組などを報告すべく、下記日程により「教員交流・研修会」並びに「SGH 生徒課題研究発表会」を開催することといたしました。ご多用の折りとは存じますが、広く学校関係の皆様にご参加いただき、ご指導、ご助言を賜りたくご案内申し上げます。

記

1. 日 時 平成29年12月15日(金)・16日(土)
2. 場 所 大阪教育大学附属高等学校平野校舎(両日とも)
大阪市平野区流町2-1-24 TEL:06-6707-5800 FAX:06-6709-1711
(地下鉄谷町線平野駅南東 約400m)
3. 内 容

(I) 教員交流・研修会 12月15日(金) 午後

高等学校の次期学習指導要領では、「総合的な学習の時間」をより探究的な時間となるよう位置づけるなど、学習全般をとおして、課題解決に必要な知識・技能の習得や、課題解決のための資質能力の育成、主体的・共同的に探究する態度の涵養などが求められています。

第1部では、本校で実践する探究的な学習(課題研究)における指導方法や学習ツール(教材)を紹介するとともに、大阪教育大学アセスメントグループと協働して進めている「課題解決力」や「コミュニケーション力」などの評価法について報告します。また第2部では、各校の取組や指導などについて情報交換を行い、研修を深めます。

SGH校、アソシエイト校だけでなく、中学校、高校、大学等、幅広い学校関係の皆様のご参加をお待ちしています。

○第1部 13:30~15:00 「課題研究の学習推進ツールの開発と評価の手法」

(1)平野校舎での実践報告(課題研究の学習教材「平野メソッド」)

本校では、探究的な学習の指導において指導者が抱えやすい諸課題について、解決の糸口となる指導法や学習ツールなどを開発し、現在、冊子としてまとめているところです。ここでは、それらを紹介するとともに、特に以下のことがらについて説明します。

- ・グループ学習において各生徒の取組意欲を高める指導法や学習ツール

- ・「調べ学習」を「研究」へと深化させる指導法
- ・「研究テーマの設定」で活用する学習ツール（疑問を研究テーマに昇華させるツール QFT・4QS)
- ・情報収集・ポスター作成・論文作成のための指導法・学習ツール
- ・ポスターや課題研究における評価―指導のあり方

(2)グローバル人材の評価システムの報告

グローバル人材に求められる「課題解決力」や「コミュニケーション力」「セルフマネジメント力」などの測定・評価法について、本校生に対しての方法やその結果、及び開発中の評価法について報告します。

- ・PROG 調査による評価結果とその分析
- ・本校オリジナルのグローバル人材評価法(GPAT)の開発について
- ・本校の評価計画について

○第2部 15:20～16:50 「情報交換会・研修会」

課題解決型学習に関する各校の取組や課題などについて、情報交換や意見交換などを行います。

(II) SGH 生徒課題研究発表会（口頭発表並びにポスター発表） 12月16日（土）全日

本校並びに招待校の生徒、民間企業の発表を行います。

- 9:00～12:00 本校生徒による口頭発表（分科会形式）
- 13:00～14:20 本校・招待校生徒によるポスターセッション
- 14:40～16:30 本校・招待校生徒・民間企業による口頭発表（全体会形式）

*ポスターセッション：本校、招待校、本学附属平野中学校等のグループ（約80グループ）が前後半（13:00～13:40、13:40～14:20）に分かれ、相互にポスター発表を行います。

*口頭発表：本校及び招待校（大阪府立北野高等学校、三国丘高等学校）の生徒によるプレゼンテーションを行います。

*民間企業によるプレゼンテーション：住友化学

「マラリア制圧：企業のビジネスを通じた社会課題解決(仮題)」

過去15年以上に渡り、ビジネスを通じて「マラリア制圧」に取り組む住友化学。マラリア対策用蚊帳の「オリセット®ネット」の供給を通じ、「ミレニアム開発目標(MDGs)：マラリア死亡率の半減」に貢献した事業の概要と、「持続可能な開発目標(SDGs)：マラリア制圧」の達成に向けた今後の挑戦について、プレゼンテーションをしていただきます。アフリカでビジネスをするということ、大企業の技術と資金力が与える社会インパクトについてもお話いただきます。

4. 本校までのアクセス

- ・大阪市営地下鉄谷町線「平野駅」下車5番出口から東南約400メートル
地下鉄谷町線東梅田駅から平野駅まで約25分、徒歩約5分
- ・JR大和路線「平野駅」下車南約1400メートル
大阪駅からJR平野駅まで約30分（JR環状線新今宮にて乗換）、平野駅より
徒歩約18分

5. 本件に関する連絡先

大阪教育大学附属高等学校平野校舎 SGH 推進委員長 松田雅彦
〒547-0032 大阪市平野区流町 2-1-24
TEL : 06-6707-5800 FAX : 06-6709-1711
E-mail : sgh@cc.osaka-kyoiku.ac.jp



12月16日 9:00～12:00（口頭発表 分科会形式 本校生、附属平野中学生）

時間	防災・減災グループ（体育館1階多目的ホール）
9:10	(1)高校1年生 3班 防災訓練の質を上げるには ～地域の防災訓練に共助を取り入れよう～
9:28	(2)高校1年生 5班 仮設住宅での睡眠障害を減らすために ～集会で地域のつながりの希薄を解決～
9:46	(3)高校1年生 7班 エコノミークラス症候群の被害削減 ～避難訓練にラジオ体操を取り入れる～
10:04	(4)高校1年生 8班 非常食備蓄を普及させるために ～店舗での販売方法を見直す～
10:22	(5)附属中学生 「 未定 」
10:40	(6)高校2年生 4班 タイに新たな文化を ～洪水とポリリズムと～
10:58	(7)高校2年生 7班 動画を用いた防災学習 ～ミャンマーの防災意識を高める～
11:16	(8)高校2年生 9班 フィリピン・北サマル州の貧困率はなぜ悪化したのか ～災害による格差を解消するために～
11:34	(9)高校2年生 10班 ミクロネシア連邦の自立復興に繋げる 「まなびあいプログラム」

時間	格差・貧困グループ（大講義室）
9:10	(1)高校1年生：2班 大学生への講義を通じた意識改革 ～20代のボランティア関心度の向上を目指して～
9:28	(2)高校1年生：3班 つなげ、赤ちゃんの命 ～赤ちゃんポストの拡大に伴う課題とその解決に向けた手法～
9:46	(3)高校1年生：6班 貧困な子供の自立を支援するには ～資料から子供の貧困の現状を理解して寄付を増やす～
10:04	(4)附属中学生 「 未定 」
10:22	(5)附属中学生 「 未定 」
10:40	(6)高校2年生：3班 靴で子どもたちの笑顔をつくる ～寄付を通じて、フィリピンとつながる～
10:58	(7)高校2年生：6班 タイの子どもたちの識字能力をあげる ～私たちができることから～
11:16	(8)高校2年生：8班 ミャンマーを取り巻く問題と国際協力における日本の役割 ～日本の人道支援の選択肢とそのリスク～
11:34	(9)高校2年生：9班 タイのゴミを減らそう！ ～環境改善と正規雇用の拡大～

時間	医療・保健グループ（合同教室）
9:10	(1)高校1年生：1班 食品偽装問題をへらすためには ～トレーサビリティシステムの普及の必要性～
9:28	(2)高校1年生：5班 生活習慣病をふせぐためには ～朝ごはんを食べて 快適な毎日～
9:46	(3)高校1年生：6班 授業のデジタル化による教育格差をうめるには ～色覚異常者向けの授業者専用改善マニュアルの作成～
10:04	(4)高校1年生：7班 避難時における水不足の解消 ～「すいすいブック」で未来を変える～
10:22	(5)高校1年生：9班 音楽療法の拡大に向けて ～音楽療法の価値を伝える～
10:40	(6)高校2年生：4班 乳酸菌を使った免疫力向上法 ～マレーシアでの感染症予防のために～
10:58	(7)高校2年生：8班 カンボジアの親子に歯みがきの大切さを届ける ～親子で理解！ハミガキのメリット～
11:16	(8)高校2年生：9班 東ティモールの子どもたちに健康に過ごせる社会を ～母子手帳を活用した保護プロジェクト～
11:34	(9)高校2年生：11班 シンガポールの入院児の教育の機会について ～学びの場を均等に～

13:00～14:20 ポスター発表

本校約60班、招待校約10校・15班、附属平野中学校約10班

13:00	ポスターセッション1（奇数班）開始 高校1, 2年および中学生、招待校
13:40	ポスターセッション2（偶数班）開始 高校1, 2年および中学生、招待校

招待校 大阪府立三国丘高校、府立豊中高校、府立生野高校、兵庫県立長田高校、神戸市立立合高校、京都教育大附属高校、奈良女子大附属中等教育学校、神戸大附属中等教育学校、大阪市立咲くやこの花中学校（予定）

14:40～16:30（口頭発表 全体会形式）

14:40	招待校 大阪府立北野高校 「 未定 」
14:58	招待校 大阪府立三国丘高校 「 BOPビジネスプラン ENKAHON ～ 生ごみに命を ～ 」
15:16	本校 防災・減災 午前中の発表において選抜された班
15:34	本校 医療・保健 午前中の発表において選抜された班
15:46	本校 格差・貧困 午前中の発表において選抜された班
16:00	民間企業によるプレゼン：住友化学 生活環境事業部 山口真広 様 「マラリア制圧：企業のビジネスを通じた社会課題解決(仮題)」

講評